



議会だより

元・しんがけ!!
土庄町

としよう

No.41

contents

- 町議会の動き……………2～3P
- 常任委員会の活動……………3～6P
- 特別委員会の活動……………6～7P
- 一般質問……………8～10P
- 編集後記……………10P



平成22年
8月5日発行／第41号



“薬物乱用防止キャンペーン” 土庄高校生徒達がエールの発信

【7月7日 土淵海峡にて】

町議会の動き

6月議会定例会

6月定例会が6月24日から25日までの2日間の会期で開催され、平成22年度補正予算1件、条例関係5件、工事請負契約の締結1件、人事案件1件について審議し、原案のとおり可決しました。

平成22年度一般会計補正予算 3,375万4千円減額⇒66億737万9千円に

《補正予算 歳出の主な内訳》

- 離島航路運航維持費補助金 △ 6,214万5千円（減）
- 瀬戸内国際芸術祭 2,127万5千円（増）
- 小豆島石のシンポジウム 300万円（増）
- 農業施設災害復旧事業 120万円（増）

◆ 人事案件 ◆

人権擁護委員候補者の推薦について

住所 土庄町刈崎
氏名 笠井 美恵子氏

適任

（平成22年9月30日をもって任期満了となるので、引き続き同氏を推薦）

◆ 工事請負契約の締結 ◆

工 事 名	馬越港港整備交付金事業（2工区）物揚場（－1.5m）等建設工事
請負代金額	55,807,500円
工事請負人	株式会社 土庄土建

条例関係の内容

土庄町職員の勤務時間、休暇等に関する条例が変更されました

3歳未満の子を養育するために時間外勤務の免除の申請をした場合、公務の運営に支障がなければ、時間外勤務をさせてはいけません。

土庄町職員の育児休業等に関する条例が変更されました

① 配偶者が育児休業をしている職員について育児休業等を取得することができます。

② 配偶者が専業主婦（夫）の場合でも育児休業等を取得することができます。

③ 父親も子育てができる働き方の実現のために、妻の出産後8週間以内に父親が育児休業を1度取っていても、3年間

以内なら再度育児休業を取得することができます。

土庄町職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例が変更されました

時間外勤務代休時間制度が導入されたことによる必要の改正。

職員の給与に関する条例が変更されました

地方公務員法の規定により、給与から控除する項目を追加した。

職員等の旅費支給条例が変更されました

住民生活に不可欠な路線バスの利用促進を図るため、職員の出張の際に本町から土庄港区間のバス代を回数券による支給とした。

田井漁港は、平成16年に発生した高潮災害はもとより、台風が来るたびに潮が上がり、特に、砂が上がるという地元の要望が高いため、平成20

田井漁港の高潮対策事業の進捗状況等

農林水産課



(5月31日)

総務建設常任委員会

常任委員会の活動

度から事業を行っている。護岸の高上げは総延長750m、現在施工済延長は450m、残り300mは、単県事業で実施の予定、今年度は延長50m、事業費150万円を予定している。

商工観光課

エンジェルロード公園案内所・公衆トイレ完成

平成21年度に整備し、公園ができていたが今回公園にトイレと案内所が完成した。費用は、全体で2千4百46万8千円、売り上げは、本年4月にオープンし、5月末日までの一日平均2万3千円ほどで、年間7百万円くらいの売り上げを目標としている。

問 売店の商品を増やすなど今後の考え方は。

4月臨時会

4月臨時会が4月19日に開催され、次の議案が全員一致で可決されました。

◆平成22年度一般会計補正予算◆ [1,313万3千円増額]

《補正予算 歳出主な内訳》

- ・地域活力基盤創造事業 211万円増
- ・港整備交付金事業 517万円増
- ・刈崎都市下水路整備事業 157万円増
- ・小海浜住宅建替事業 428万3千円増

◆工事請負契約の変更について◆

- ・平成21年度唐櫃漁港地域水産物供給基盤整備事業(5工区)A防波堤建設工事⇒598万5千円減
- ・平成21年度唐櫃漁港地域水産物供給基盤整備事業(6工区)A防波堤建設工事⇒1,858万5千円増

◆専決処分の承認を求めることについて◆

- ・税条例の一部改正
- ・過疎地域における町税の特別措置条例
- ・国民健康保険税条例の一部改正

答 とのしょう観光協会の会員の中で、運営委員会を立ち上げ協議したい。

全国シニアソフトボール 古希小豆島大会結果報告

5月14日から17日の間、全国より23都道府県62チーム約1,200名が参加し、68歳から90歳までの選手の皆さんにより熱戦が繰り広げられた。

小豆島コールセンター企業誘致の現状と進出協定の経過

スタッフ養成研修の受講者に対し、現状を通知した。4月に入り、ウェルコム社長から書簡が届いた。要旨は、「経済環境の悪化により進出計画を見直さざるを得ない。現在、受注業務が取れていないので、計画が遅れている。ただ会社としては、何としてもコールセンター進出の約束を果たしたいので、土庄町から観光案内業務などを発注していただき、まずは小規模なセンターから業務

を開始し、稼働実績を作り規模拡大に向けて努力したい。」というような内容であった。この中で、提案があった観光案内業務は、年間を通じてコールセンターで担うほどの業務量があるか疑問である。また、町が発注するとなれば事業費が多額になるので、今のところ難しいという説明であった。

問 ウェルコム自身が受注業務を探しているのか。

答 県内企業に営業はしていると聞いている。島内企業にも営業はしている。なので、全然動いていないということはない。

問 期限を決めて、白黒つける時期ではないか。雇用としても非常に重要だが、町として方針を出すべき時期でないか。

答 地元企業から提案はいただいている。また、ウェルコムとも切れないという段階で、新しい企業の誘致に具体案を早く提案して欲しいということで、具体化を急いでいる。

コールセンターの誘致問題は、今後も継続調査していきたい。

瀬戸内国際芸術祭

① 豊島で17作品予定。

現状は、唐櫃浜の作品は、ほぼ完成、豊島美術館は、コンクリート打設後、中の土を抜き取る作業が終りに近づいているが開館は10月中旬予定。

また小豆島では、地元安岐さんの作品を始め11作品が予定され、王さんとタダン・クリスタント氏の作品には、竹が必要で、肥土山・中山自治会に竹の切り出しを依頼している。また豊福さんの屋形船の製作は、小豆島町の造船所で製作中。

その他の作品については、6月中旬過ぎになれば、一斉に作家・作品等が動き出すと思われる。

② アクセス

「芸術祭フリー乗船2日券」が販売を開始。

③ 作品鑑賞用パスポート県全体で5,287枚の予約。土庄町では、島民用パスポート1,515枚の予約。

問 当初、事前に地元の皆さんと話をさせていただきながら協働体制を作っていくと言っていたが、どうやって盛り上げていくのか。

答 全般に実行委員会の動きが遅れている。作品ができたしたらマスコミも報道してくれると思う。わが町でPRできることはしていきたい。

問 大変な事業と思うが、経費面はどうか。

答 負担金500万円、それと別に豊島のバス、案内所等について県から要請が来ている。豊島は、公共交通機関がないので、緊急雇用基金事業を使って土庄町がバスを運行する計画を立てている。案内所の要員も、不足する部分は緊急雇用を財源に実施したい。

総務課

財政状況の現状と今後の見通しについて

一般会計の歳出

平成21年度の決算見込は、3億円近くの黒字に

なると思われる。

○人件費↓平成22年度以降、職員の年齢構成で、少しずつ減少予想。

○扶助費↓21年度に定額給付金、22年度から子ども手当が創設され、23年度以降は子ども手当の倍額が見込まれている。

○公債費↓20年度までの借入償還と21年度以降の借入により増減。

○普通建設事業↓23年度で公共事業の馬越港整備が完了。24、25年度は、小学校の再編による校舎の建築を含んで試算。

○補助費↓老人ホーム入所負担、広域の負担等の増加により微増。

○繰出金↓介護特別会計の増額により増加傾向。

一般会計の歳入
○町税↓微減傾向にあるが、平成24年度は、町民税の15歳までの扶養控除廃止に伴い増額見込み。

○地方交付税↓24年度において国勢調査の人口が適用されるため、人口の減少により減額見込み。

○国県費↓補助、扶助、

普通建設の歳出により試算。

○繰入金↓基金の取り崩し、町債は、普通建設により試算。

○一般会計の地方債残高の見込み↓小学校再編に伴う校舎建替え、ごみ最終処分場の建設により24年度以降増加傾向に。

○財政調整基金↓22年度以降は、普通建設、補助費等の増による減少見込み。

○地域福祉基金等↓利息を毎年充当し事業を実施
○町有地の売却↓昨年度は、用途廃止を除けば、1件の売却。

問 地方債残高が21年度で69億円、財政調整基金が6億5,500万円、この数字だけを見れば、財政が厳しいというのが分かりにくい。

答 経常収入が増えるわけではないので、足りない部分や大きな事業をするとなれば、どうしても財政調整基金を崩さないといけない状況である。

企画課

次世代育成支援行動計画（後期計画）策定

平成17年度を初年度として26年度まで、10年間の計画で策定したが、21年度が見直しの時期であり、今回新しく作成した。

まず、対象は、就学前児童のいる世帯、小学校児童のいる世帯にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて計画を立てている。

人口構造の現状・出生数、婚姻等の状況、また理想の子ども数を聞いたところ、「3人」という答えが一番多く、理想の子ども数を持つことができない理由は、経済的負担を挙げている方が多いという結果が出た。

これは、5年前の前期計画も同じような結果になっている。

当初の計画になかったものは、すこやかエンジェル祝金等の支給、放課後子ども教室の展開などを今回新しく追加した。続いて、おせっかい事

建設課

土庄港臨港道路及び町道吉ヶ浦4号線整備事業の進捗状況

町が施行するエリア、県が施行するエリアがある。スケジュールは、香川県が土庄港臨港道路の整備を21・22年度で実施

業計画の説明があり、今回は、9月11日に「おせっかいサンセットin小豆島」ということで、野外活動センター等で実施する予定。

し、工事費は合計で1億6千672万円になっている。7月末に建物は取り壊しその後工事にかかる。

また、吉ヶ浦4号線は町営事業で、21・22年度で実施し、工事費は合計2億円。7月末で県と同様取壊し更地にする契約になっている。

土庄港の環境整備事業は、高潮対策も兼ねており、2月末から3月にかけて工事をする予定。事業は、22年から24年の3か年で実施予定、事業費は全体で3億2,200万円である。



教育民生常任委員会

(6月2日)

豊島へ視察研修

購入したスクールバスについて

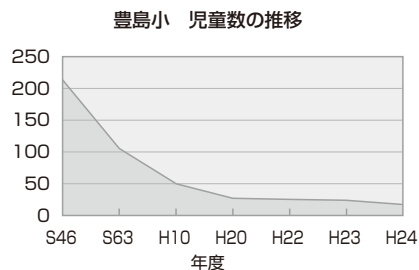
この車輛は、平成22年3月に5百31万5千円で購入した。

財源内訳は、国庫補助金2百30万円、辺地対策事業債3百万円、現在、9名の児童がスクールバスを利用し登下校をしている。

豊島小学校の現状

児童数は、男子が17人、女子が10人の合計27名で、1学年の平均4.5人になっている。家浦地区から18人、硯地区から1人、唐櫃地区から8人である。

教職員は9名（管理職2、教諭3、講師4名）。講師の内、町から2名の複式解消の講師と県費講師が1名、養護教諭の育児休暇の代替が1名となっている。



パソコンは、21年度に町から全教員に各1台あるよう支給している。盗難防止対策として、退校時には必ず机の中等に保管すること、USBメモリーも、退校時には必ず耐火金庫に保管しているとの説明であった。

次に、活動状況は、豊島小学校は1級へき地校なので、少人数ならではの活動を実践している。地域の実情は、学校教育に大変関心が高く、また大変協力的であり、学校としても学校の活動を情報提供していかねければならない。その一つの策として「学校だより」を毎月、全世帯に配布している。



豊島小学校

続いて、地域と共に行う連携教育として、「島の学校」というのが毎年8月に行われているが、今までは体育館等を貸すだけであったが、昨年から6年生が中心となった授業を島外の皆さんにも公開して見てもらっている。その中で、子どもたちが地域を愛し、地域を担っていくことができたと思っている。最後に、子どもたちが成人になり豊島に帰ってきて、豊島を担う人間になってくれるようお願いしているとの説明であった。

- 問** 瀬戸内芸術祭が始まるが、関連して食育活動等で何か考えているのか。
- 答** 何か子どもたちに経験させてやりたいと考えている。今後は棚田との関連事業も考えていきたい。
- 問** ふるさと再発見として子どもたちがガイド役として地域を案内していると思うが、学校として夏休み等を利用して、再度実施する考えは。
- 答** 昨年は壇山のハイキングツアーを計画し子どもがガイド役になり実施した。今年も子どもたちで、できるガイド等を計画している。



耐震補強した豊島小体育館

施設の整備状況
体育館の耐震補強工事は、工事金額3千98万250円、工期は平成21年10月から約4か月で終了し、財源内訳は、国の交付金で安全・安心な学校づくり交付金と地域活性化・公共投資臨時交付金で実施した。

工事の内容は、耐震補強で、鉄骨ブレースをたすき状に入れ、また壁に24か所と天井裏にもブレースを入れている。大規模の地震がきても倒壊しないように補強している。

また、校舎屋上の防水改修工事は、工事金額8百33万700円、工期は平成22年3月から平成22年4月で終了した。

財源内訳は、国の地域活性化・きめ細やかな臨時交付金で実施、工事内容は、既存のシート防水を剥がし、屋上全面に新たにシート防水を施工したとの説明があり、その後、現場を視察した。



豊島歯科診療所と豊島健康センターを視察



豊島歯科診療所



豊島健康センター

施設名	豊島歯科診療所	豊島健康センター
目的・経緯	歯科医療機関のない豊島地区の住民のため香川県歯科医師会に歯科診療を委託している豊島公民館で歯科巡回診療を開設していたが、高齢者に不便なことや専用の診療台がなかったため	平成17年に永松診療所が閉院になり、豊島交流センターを利用し、へき地診療を実施していたが、月・火・金の週3回、9時から16時30分まで診療している
完成年月日	平成20年12月1日完成、12月4日診療開始	平成20年1月
利用者数	毎週木曜のみ診療で15名程度	1日当たり 23.4人 (21年度)
担当課	健康増進課	中央病院

特別委員会の活動

交通問題対策特別委員会

(6月7日)

小豆島オリーブバス株式会社の運行状況について

オリーブバス株式会社取締役会の内容について報告があった。本社の業務所の移転計画、バスの車庫、従業員の詰め所等について、付議事項として諮られた。また、社長より船との接続に関しても、現在ダイヤの見直しを指示していると聞いているとの報告であった。会社の状況は、3月、4月で当初の収支計画を上回る利益が出ている。今後も資料提出をお願いし、運行状況等について注意深く見守ってきたいとの説明であった。

バスの利用促進策について

小豆島オリーブバス

が、地域住民に必要な路線バスを維持するため、国と県が助成措置を講じている補助路線5路線を維持する必要がある。そのためにも、乗車率等の要件を満たす必要から、町としても利用促進に協力する必要がある。

そこで、町としては島外出張時に土庄本町・土庄港間について回数券利用の出張を考えている。これには、条例改正、補正予算が必要なので6月議会に上程する準備をしている。今後も町広報に利用促進を常時掲載するなど利用促進策について検討したい。

巡回バスの運行結果について

2月1日から43日間、1日33便を運行する巡回バスの試験運行を実施した。利用状況は、1台当たり平均1.9人と低い利用状況の結果であった。

また、アンケートの結果で利用者は60代以上の女性が多く、主に通院・買物で利用している。

今後は、あまりにも利用度が低い結果となったので、今年度は運行を見送ることになったとの説明であった。

問 寒霞溪線とか観光アクセスがかなり不便になっているが、今後は観光路線の増も考えているのか。

答 観光のお客さんには不便をかけているので、なんとか考えてみたいという意見も出ている。

委員より

わが町も議会もバス利用の支援策をもっと考えるべきではないか。

この特別委員会として何をすべきか、皆でもっと議論して進めなくてはいけないという意見や、陸上海上交通、観光を含めた交通体系を今後どうするかという議論が、大事なところだと思うとの意見や、またこの特別委員会の設置が必要かどうかまで議論をしていくのか、視点を少し変える時期に来ているのではという意見等が出た。

瀬戸内国際芸術祭関係の交通アクセスについて

小豆島の場合は、芸術祭開催に伴う増便と芸術祭に向けての新しいバス路線ができる。

問 船との接続はどうか。

答 船の着時間に合わせて設定している。

委員より

年間通して観光路線を確保することを検討していかないとけないとの意見があった。

「芸術祭フリー乗船2日券」について

芸術祭の期間中連続で2日間だけ乗り放題になる。大人3,500円、子ども1,750円で、6月中旬から売り出しを始め、JTB等の旅行代理店全てが入っており、船の切付売り場で購入できるとの説明であった。



水道事業調査特別委員会

(5月20日)

肥土山浄水場の現在の施設状況等を視察

肥土山浄水場の更新計画

●薬品凝集沈殿池

水温や濁度の急激な変化に対して運転管理が容易であるという理由で、今回は横流式の薬品凝集沈殿方式を選択したい。

●汚泥処理方法

用地の確保の問題と建設費を考え今回、多段式高効率天日乾燥床と通常の天日乾燥床の併用を採用する予定。

●更新計画の概要

浄水場の上流側の田んぼを2反ほど買収する予定で、基本計画を作成している。

水の流れは、原水調整池に吉田ダムや殿川ダム等から取水し、それから薬品凝集沈殿池に入る。そこから、砂ろ過、浄水池に流れて行き、塩素を投入後、配水池に貯水するという計画にしている。

排水池は、急速ろ過池の逆洗した水を排水池に一度溜め、上澄水を薬品凝集沈殿池に送り、下部に沈殿した汚泥を汚泥濃縮層に送る。汚泥濃縮層は、薬品凝集沈殿池の排水地の汚泥を集積し、減容化を図り汚泥処理施設へ送る。その汚泥処理方式は多段式高効率天日乾燥床と通常の天日乾燥床の二種類を計画している。

●管理棟

構造 鉄筋コンクリート
造り2階建
1階 床面積 338㎡
事務所、監視室、

会議室等。

2階 床面積 227.6㎡
水質試験室、受電室、機械室等

総床面積565.6㎡

●薬品注入棟

(次亜塩等の薬品注入設備)
構造 鉄筋コンクリート
造り平屋建て
建床面積 107.8㎡
設備

・次亜塩の注入ポンプ
2台(内1台予備)
・PACの注入設備

【問】施設が新しくなった場合、業者委託などは考えていないのか。



【答】他の施設でも処理しているの、肥土山だけを民間委託することは考えていない。それと、ある程度の知識がないと処理が難しい。

【問】原水調整池をも一つ作りたいという理由は何か。

【答】他計画の原水調整池が180㎡しかないの、停電した場合とか原水を引き込めない時のためにも、原水調整池をも一つ作りたい。

【問】新しくなると管理棟ができるが、水道課が全部移動するのか。

【答】公営企業法を適用しているの、移動する予定である。

委員より

汚泥は産廃になるが再利用も含めて調査研究をするよう要望があった。

水道料金について

家族構成別と用途別の値上げについて説明があった。一般的な二人世帯2か月での使用水量30

㎡と四人世帯2か月使用水量50㎡を値上げ率ごとに示していた。

まず、二人世帯で10%上がった場合、合計で50円増え、四人世帯で980円増加する。

また、業種別の水道料金は、現行では、小豆島町より土庄町の方が安くなっているが、値上げすると、家庭用以外の営業用・工業用は土庄町の方が高くなる。

次に経常収支の説明があり、給水人口の減に伴い、水道事業の主要財源である給水料金は右肩下がり減少している。

水道施設工事は、老朽管布設替、水道設備修繕などを計画的に毎年整備していく予定だが、肥土山浄水場の更新を考えているので、今現在では20%以上値上げしなければ、水道事業の経営ができなくなるが、収益の減少、事業費の増大により、値上げ率は変動する可能性があるという説明があった。

委員より

【答】平成9年より値上げをしていないので苦しくなっている。

水道の値上げは平成9年に28%の値上げをしている。今回特に水道浄水場の更新や導水管の布設替えなどがあり、20%以上の値上げをしたいという中からの議論になってきたが、同じ20%でもホテルや事業所は厳しいと感じる。いずれにしても、料金の改定の協議というのは5年間隔と思うので、今回は10%の値上げにして、5年先の状況を見てから、その時に再度料金について検討するのが良いという意見があった。



6月定例会 一般質問事項



三枝邦彦 議員

し尿について

Q 御影浄苑は約6年で使用できなくなるが、あと、どの様に考えているのか。

A 6年後には新たな場所での運営が必要で、計画では環境アセスメントなどを含めて、供用開始までには5か年を要する。

現在の御影浄苑で再度お願いするのは、過去からの経過もあり非常に難しい状況である。

また考え方として、小豆広域としての運営も視野に入れた検討をしなければならぬ。

Q 国の推奨するバイオスタウン構

想とかいろいろ言われているが、バイオマスについては今後どう対応するのか。

A バイオマスについては、資料等も提供いただき、説明を受けた。確かに「資源使い捨て社会」から「資源循環型社会」への移行促進策ということでの再生利用は素晴らしいことだと思っているが、堆肥としての需要面、利用の実証実験も乏しく、有効なのかなどの問題が残っている。今すぐの結論には至らないと考えている。

新し尿処理施設整備への検討に入ったばかりなので、この計画の中で実証結果によっては検討してみたい。

Q わが町や小豆町の産業界などから汚泥・かすが多く出て大変困っているということを聞いた。

今後新たに作っていくとなると、当然それらの処理ができるような施設を作るため、今後小豆島町と一緒にできるようなことが一番望ましいと思うが。

A 町同士の話し合い、さらにバイオマスを入れるかどうかの話し合い、年次計画などをこの1年間で立てていきたいと思っている。そういう中で、やはりアウトソーシングという話もあり、検討をしていきたい。

バイオマスとは

原料、燃料として利用することのできる生物起源の有機物であり、木くず、動物の糞尿、生ゴミなどが含まれる。バイオマスは石油のようになくなってしまふことはなく（再生可能性）、また使っても大気中の二酸化炭素濃度が増えない（炭素中立性）。このことはバイオマスの持つ重要な特性である。

滞納整理をどう進めるのか



川口幸路 議員

Q 3月議会で債権管理条例を可決した。日本国憲法に定められた国民の納税義務、公平に平等に町民も納税すべきであると思っているが、その後、現状を含め滞納整理にどのように取り組んでいくのか。

報の共有化を図ることを検討している。
また、債権回収に関する研修を開催して、滞納整理担当者の知識習得と資質の向上を図ってきたい。

Q 徴収率は県下でも低い。ぜひ具体的に目標を設定し、結果を出して欲しい。

A 収納対策室を立ち上げ、その中で目標を決め、滞納、また使用料、手数料、家賃、また医療の問題などの解決を図り、1歩も2歩も前進させたい。

A 収納対策室を立ち上げ、その中で目標を決め、滞納、また使用料、手数料、家賃、また医療の問題などの解決を図り、1歩も2歩も前進させたい。

税の滞納整理とともに、水道料、住宅使用料、病院の医療費、衛生手数料等の債権徴収計画や督促、強制執行等の管理を適正に行うための根拠として「土庄町の債権管理に関する条例」を制定した。滞納者の傾向として、税のみならず水道料等その他の債権も同時に未納・未払の状態にあることから、法律に抵触しない範囲で情

小江最終処分場の操業延長について

Q ごみ処分は、生活に欠かせない問

題だと思いが、今後どのように進めていくのか。また、議会に対しての協力要請は、どのように考えているのか。

A ごみの埋め立ての操業期間延長が自治会総会で否決され、23年3月末までとなっている。何とか再度協議の場に戻して欲しいと働きかけ第1回目の交渉委員会を開催し、再協議の場へあがっていただきたいとの申し入れをお願いした。

1万6千人町民の生活に欠かせない問題であり、粘り強く交渉していききたい。

今後、随時、議会にも報告させていただき、必要に応じ応援をいただきたい。

A 小江の最終処分場の問題は最大の課題、政治課題と思っている。誠心誠意、とことん話し合って解決に向かっていきたい。

瀬戸内国際芸術祭に対する地域の関わり方は

Q 地元肥土山地区の方々には芸術祭への関わり方が、今日に至っても分からないとの声を耳にするが、祭典の成功に向け地元対話が必要と思うが、今後の取り組みについて伺います。

A 肥土山地区では、去年の12月に肥土山・中山地区合同説明会を開催し、引き続き、各種団体に数回説明会を開催してきた。その後、作品製作などに對し、具体的な協力依頼にあたり、情報が混乱しないよう肥土山自治会を窓口とし、一本化として取りまとめをお願いしている。



泊 満夫 議員

A 住民の方が参加をして盛り上げるそれが今まだできていないと思っている。具体的な項目を挙げ、町としても協力していきたい。

Q 今後地元になにか依頼をするようなことがあれば町として負担金の支出について考えているのか。また石のシンポジウムについても伺う。

A イベント開催に伴う経費など地元負担をかける部分は、芸術祭実行委員会から地元で支払われる。

また、小豆島石のシンポジウム事業についても2町が実行委員会に負担金を支出しているので、実行委員会の予算で対応したい。

陣屋跡のその後の経過は

Q (塀)修理に関する所有者との話し合いの経過について伺う。町並み整備保存の観点から今後の取り扱いを。

A 使用貸借契約書を締結している建物以外の建物部分ではあるが、所有者の方には塀が傾いている現状等を報告している。

その後、地元の管理者から所有者の都合で8月まで話し合いを待って欲しいという連絡があり、現時点では話し合いはできていない。

2点目の町並み整備保存の観点からの取り扱いについては、文化財としての評価をする必要はあるが、陣屋跡がまち歩き休憩所・催し物会場として迷路のまちの拠点でもあり、老朽化した建物についても修理をする時期に来ているのではないかと考えている。このことについても、所有者と協議していきたい。

しし垣の活用について

Q しし垣は、昔、島民の存亡に関わるものとして、長い歳月をかけて自力で築き上げたもので、それを築き上げるには多大の労力と費用、その他、様々な困難な大事業であったと思われる。しかし今日、先人の偉業が忘れられつつある。

このしし垣の活用・保存・伝承について、どのように考えているのか。

A 文化財保護審議会の委員が現地調査を行い、走行図を作成して、また、大部地区職員ワーキンググループでは、大部地区のしし垣調査を行い、その保存活動報告を受けている。

しかしながら、町内各地にあるしし垣の多くは、私有山林に横断的に点在し、所有者の管理に任せている状態であるが、現時点で行政が総合的に整備できるものではなく、その活用方法にしても、費用対効果を試算した具体的な案はない。

今後は、「島のしし垣を考える会」の活動状況等を参考にしながら、行政としてこの貴重なしし垣を生かし、活用する手法を見出していきたいと考えている。

中央病院駐車場の整備について

Q 中央病院の入り口にある、香川県信用組合土庄支店跡地を駐車場用地として確保しているが、一向に駐車場として利用できていない。

中央病院の入り口にある、香川県信用組合土庄支店跡地を駐車場用地として確保しているが、一向に駐車場として利用できていない。

毎日混雑している駐車場の傍らにはロープで囲いをした空き地がある。いつになったら駐車場できるのか。

A 4月下旬に旧店舗の取り壊しの完了報告があり、その後、交換契約、所有権移転登記の処理が完了した。それと並行し、町道と県道の取り合わせに伴い、土地の一部を県道にするため県との調整、また、交差点の信号機設置にかかる調整等に時間を要し、現在に至っている。今後は病院側と協議を進め、利用者の利便性、周囲の交通環境の整備を踏まえながら、速やかに対応していきたい。

A 表示の件は、病院と協議し実施したい。

Q 病院の駐車場は早くやって欲しいが、その間、経緯など病院の院内に表示、説明書きができれば、理解してくれると思うが。



上川正衛 議員

次年度の行政機構について

Q 大量退職時において、行政機構の見直しを行うと聞いているが、今年度末には多くのベテラン職員が退職を迎える。行政機構の編成について、お聞きしたい。

A 平成18年3月に作成した土庄町行政改革実施計画で、一般行政職の定員管理計画を131名から120名に削減するとし、本年4月1日現在の実人数は116名である。

この間の団塊世代の退職数は、平成17年度から平成22年度までに合計で47人となり、一方、採用は、定員管理計画を目標に計画的に補充しながら、住民へのサービスを低下

させよう意識改革を行い、し尿収集の外部委託の実施など行政改革を進めてきた。大量退職のピーク時期が過ぎたとは言え、今後は、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げる、組織体制作りをめざし検討していく。

A その中で急激な組織の編成は、現時点では考えていない。ただプロジェクトチームは解散し各所に移す。

「改正過疎地域自立促進特別措置法」について

Q 2010年4月に施行され、今回対象にソフト事業が加わった。内容は、自由に設

定できるとのことでも町でも検討してみたいかか。

A 過疎地域自立促進特別措置法が本年3月に延長され、土庄町においても新たに平成28年3月31日までの、今後6年間の土庄町過疎地域自立促進計画を策定することとなった。事業の内容は、土庄町過疎地域自立促進計画の中で定める必要がある、現在その準備を進めているところである。具体的にはまだ明確ではないが、幅広く過疎債が充てられるよう柔軟に検討を重ね、12月議会の上程に向け計画を作成する予定である。

A 新たな地域おこしの協力隊を作り、それに補助するとか、またこういうのを採用したら良いのではないかと、うご提案をいただければと思っている。その対象が過疎債ということ、金額は少ないがこれを大いに活用していきたい。

水道事業調査特別委員会視察研修（4月21・22日）

奈良県五條市（小島浄水場）、滋賀県近江八幡市（牧浄水場）の水道事業の運営状況と浄水場施設の概要について視察研修を行ってきた。活発な質問があり、充実した視察研修であった。この視察研修を肥土山浄水場更新事業に十分活かしていきたいと考えている。

	五條市	近江八幡市	土庄町
給水開始	昭和37年2月	昭和29年3月	昭和34年3月
拡張事業	5次	5次	6次
普及率	99.8%	99.8%以上	99.4%
計画給水人口	44,100人	73,200人	17,000人
1日最大給水量	12,481m ³	40,700m ³	7,877m ³
有収率	86.30%	91.20%	81.01%



町議会を傍聴してみませんか！

町の本会議は、公開されています。町政がどのように進められているかなど町議会の実際を知りたい方は、いつでも傍聴することができます。

詳しくは、議会事務局（☎62-7011）へお問い合わせください。

次の町議会は、9月中旬頃から予定しています。

編集後記

伊喜末地区には毎年8月13日の午後7時を過ぎると、「カンカン、チキン」と鐘の音が聞こえ、白装束に編み笠をかぶった人達が各家から出てきます。伊喜末夜念仏の始まりです。

この伊喜末夜念仏は一度も途絶えることなく昔より続いています。

現在、夜念仏連中は十九人います。二班に分かれ伊喜末全戸のショウ口ウ棚に向かい、念仏を唱えながら廻っています。

夜念仏には、お寺への念仏、釈迦堂への念仏、そして墓地への念仏と色々な念仏があります。念仏は人の口から口へと伝えられたもので、文句は短いですが、それぞれ各人の節廻しも個性があり、非常に難しく覚え難いものです。年に一度の盆に各戸の祖先にお参りをし、祖先を敬い尊び、地区の安全、地区の発展を願いつつ唱え続けられてきたものと思っています。

△正衛 記▽